

2009年5月26日
郵便事業株式会社

古紙配合割合を高めた葉書用紙を郵便葉書に使用することについて

郵便事業株式会社（東京都千代田区、代表取締役会長 CEO 北村憲雄）は、昨年8月に公表した「郵便葉書の環境品質向上に向けての方針」に基づき、郵便葉書の古紙利用を進めるため古紙利用の郵便葉書の品質確保等の取組みを行い、平成21年用カーボンオフセット年賀のインクジェット版のすべてに古紙配合率20%以上の葉書用紙を導入したところです。

その後も、郵便葉書の製造に直接関わる印刷会社、製紙会社の協力のもと郵便葉書の品質を確保のための取組みを行い、その結果、現在、販売している通常郵便葉書（インクジェット紙）について、古紙配合率20%以上の葉書用紙に切り替えていくこととします。

また、平成21年夏のおたより郵便葉書（かもめ〜る）のインクジェット紙についても、通常郵便葉書（インクジェット紙）と同様に、古紙配合率20%以上の葉書用紙を使用するとともに、地球温暖化防止プロジェクトに寄与するカーボンオフセット（インクジェット紙；発行枚数200万枚）については、古紙配合率40%以上の葉書用紙を使用することとします。

なお、お客さまからのご評価をいただきながら、引き続き、古紙配合率40%以上の郵便葉書の拡大を目指してまいります。

これら葉書用紙の古紙配合率を高めたことによる特徴として、古紙配合率が1%から5%程度であったインクジェット葉書用紙と比べて、①白さが少し落ちる、②チリ、黒点がやや目立つといった現象が見られますが、従来のインクジェット紙と同様にお使いいただけます。

なお、今後とも郵便葉書の環境品質向上に向けた取組みを継続してまいりますので、みなさまのご理解とご協力のほど、何卒、よろしくお願いいたします。

以上

【参考】古紙配合率20%以上の葉書商品について（全券種インクジェット紙）

券種名	古紙配合率	備考
平成21年用年賀葉書・カーボンオフセット （インクジェット紙）	20%以上	販売終了
通常葉書（インクジェット紙）		—
平成21年かもめ〜る（インクジェット紙）	40%以上	【販売期間】 平成21年6月1日（月）～ 同年8月21日（金）まで
平成21年かもめ〜る・カーボンオフセット （インクジェット紙）		